

稲沢市
動植物生息調査業務報告書

1 事業の概要

(1) 調査事業の概要

平成23年度から平成27年度の5年間にわたり、稲沢市の動植物生息調査を行った。調査する動植物は①野鳥 ②水生生物 ③植物（主に野草） ④昆虫とした。

調査地区は稲沢市を①明治市民センター地区 ②平和支所地区 ③千代田市民センター地区 ④大里西市民センター地区 ⑤大里東市民センター地区 ⑥稲沢市民センター地区 ⑦小正市民センター地区 ⑧下津市民センター地区 ⑨祖父江支所地区の9地区に分けてそれぞれの地区の象徴的な場所を調査地とした。そして祖父江支所地区の西にあたるサリオパーク祖父江内の国営木曾三川公園ワイルドネイチャープラザ一帯に広がる自然林や砂原は、他の地区とは異なった様相を見せるので、⑩「木曾川そぶえ砂丘自然林（国営木曾三川公園ワイルドネイチャープラザとその周辺を指す）」一帯の動植物として調査した。

(2) 環境学習会の概要

調査のほかに市民を対象とした環境学習会（自然観察会）を開催し、自然や環境に関わる学習会を開催した。水生生物に関しては毎年千代田市民センター地区（千代田中学校北の池及び水路）で行うほか、平成23年度及び平成24年度は、他地区でも開催した。平成24年度から平成27年度は、種類の豊富な前記木曾川そぶえ砂丘自然林で、昆虫・植物・野鳥の観察会を開催した。参加対象者は次世代を担う小学生及びその保護者を原則とし、子どもの興味を引くような活動内容を展開して小学生が生物多様性について理解を深め、自然環境の保護・育成に関心を高めていくよう配慮した。

2 調査場所

(1) 明治市民センター地区

本地区の西側には祖父江支所地区と境をなす日光川、北からそれに注ぐ光堂川、南に三宅川が蛇行し、東に三宅川に注ぐ観音川がある。三宅川と観音川の合流地点の南側には、回りより一段高い砂地の丘が形成され森ができています（矢合町）。

そこで、野鳥についてはこれらの川やその周辺、及び矢合の森を中心に調査した。野草や昆虫については観音川と三宅川が合流する地点の堤、及びその周辺（船橋町から矢合町）を、水生生物については平尾苧町と法花寺町との境の水路を調査することとした。

(2) 平和支所地区

稲沢市で最も南に位置するこの地区は、河川が多く豊かな田畑が広がっている。まず日光川が西を流れ祖父江支所地区と境をなし、東は三宅川で千代田市民センター地区と境をなし、南の端で領内川も含めて三川が合流している。更に中央を須ヶ谷川が流れ日光川に合流している。樹木に関してはあまり目立った森林はなく、神社などが主なところといえよう。

(3) 千代田市民センター地区

本地区は、以前から環境保全課の事業として、児童生徒を対象とした環境学習が行われてきているところである。そのため調査地として、福島町比舎田地内稲沢市立千代田中学校北の池及び水路周辺を選んだ。池は一年中水が涸れることなく、市内でも珍しい水生生物の産卵・越冬が期待される場所だからである。

なお、その理由から水生生物を対象とした環境学習を通して毎年継続調査する場所とした。

(4) 大里西市民センター地区

本地区では、水生生物は北島町の県道 67 号線の北側の水田及び水路を、植物や昆虫は稲沢市奥田立長町の福田川と伊勢木川の合流地域を、野鳥は福田川堤及び周辺の田園を中心に調査することとした。

(5) 大里東市民センター地区

本地区では、水生生物の調査及び環境学習会を、六角堂西町大里東市民センター周辺の水路で行うように計画した。植物や昆虫は稲沢市井之口町あたりの福田川周辺で、野鳥については当地域内の福田川周辺の田園を中心に調査することとした。

(6) 稲沢市民センター地区

稲沢市民センター地区は南に稲沢公園や保健センター、荻須記念美術館、市役所等の公共施設を有し、中部は商業・住宅地区が広がる。北部は昔ながらの田園地区で、非常に変化に富んだ地区でもある。従って本地区の調査は、野鳥と植物、昆虫については南部の稲沢公園付近及び三宅川周辺（重本地内）を、水生生物については北部の稲沢北小学校東の水路（稲島地内）を中心に実施することにした。

(7) 小正市民センター地区

小正市民センター地区についても中部は J R 稲沢駅を中心に古くからの商業、工業、運輸関係が発展した地域であり、田園は南部にわずかと北部に残っている状態である。従って、本地区での調査は、昆虫、植物、水生生物については治郎丸中学校と J R との間（陸田花塚町地内）の水田や水路付近を中心に、野鳥については島町大江川周辺を中心に行うこととした。

(8) 下津市民センター地区

下津地区は近年の開発で商業施設や住宅造営の発展著しい地区である。農業関係においても畑が多く、調査場所の選定に一番迷った場所である。予備調査の結果、植物や昆虫、野鳥の調査を稲春橋上流の五条川堤防周辺（下津下町東地内）を、水生生物の調査を下津市民センター西の水路（下津高戸町地内）を中心に実施することにした。

(9) 祖父江支所地区

この地区は西に木曾川が流れ、その支流として木曾川用水海部幹線水路が導かれている。中央には南北に領内川が流れ、東の端は日光川が流れている。木曾川堤から河川敷にかけては広大な自然林が広がり、生き物にとっては絶好の環境を形成している。そこで、植物と昆虫、水生生物については長岡小学校周辺を、野鳥は木曾川及び広口池周辺を調査地とした。

(10) 木曾川そぶえ砂丘自然林一帯

木曾川の河川敷「木曾川そぶえ砂丘自然林」は、かつて木曾川の砂が西風によって吹き上げられ、河川砂丘が発達していた。それが木曾川大堰によってせき止められ、豊富な水が湛えられ、そのおかげで自然林や葦原が発達して多くの生き物の生息域となったと考えられる。また、このダム湖のおかげで旅鳥の休息池としての役割も果たし、たくさんの種類の鳥が観察される場所になってきている。

祖父江支所地区は平成 23 年度の調査対象地区であるが、その時の調査では他の地域と比べ、動植物の種類や数が極めて顕著であった。特に野鳥の種類については県内でも 1, 2 を争う場所で、稲沢市の貴重な財産であるとともに今後の自然環境の維持促進のためにも継続観察が必要と判断したので、期間中継続して調査した。

3 活動年度及び場所

(1) 調査活動

年度	調査地区	調査場所等
平成 23 年度	祖父江支所地区	<ul style="list-style-type: none"> ・木曾川そぶえ砂丘自然林一帯の動植物 ・領内川河畔の植物 ・牧川小学校排水路の水生生物 ・長岡小学校南水路にて昆虫、水生生物
	明治市民センター地区	<ul style="list-style-type: none"> ・明治地内の三宅川、光堂川、観音川周及び、矢合の森周辺の野鳥と昆虫、植物 ・平尾苧町と法花寺町との境の水路の水生生物
	平和支所地区	<ul style="list-style-type: none"> ・法立地内の須ヶ谷川周辺の野鳥・植物・昆虫 ・須ヶ谷川及びその周辺の排水路の水生生物 ・須ヶ谷川及びその周辺の野鳥
	千代田市民センター地区	<ul style="list-style-type: none"> ・千代田中学校北の排水路及び池の水生生物
平成 24 年度	千代田市民センター地区	<ul style="list-style-type: none"> ・千代田中学校北の排水路及び池の水生生物・植物・昆虫 ・目比川及びその周辺の野鳥
	大里西市民センター地区	<ul style="list-style-type: none"> ・北島町の県道 67 号線の北側の水田及び水路の水生生物 ・奥田立長町の福田川と伊勢木川の合流地域の昆虫・植物 ・福田川及びその周辺の野鳥
	大里東市民センター地区	<ul style="list-style-type: none"> ・六角堂西町大里東市民センター周辺の水路の水生生物 ・井之口町あたりの福田川堤及びその周辺の昆虫・植物 ・福田川及びその周辺の野鳥
	祖父江支所地区	<ul style="list-style-type: none"> ・木曾川そぶえ砂丘自然林一帯の動植物
	千代田市民センター地区	<ul style="list-style-type: none"> ・千代田中学校北の水路及び池の水生生物

平成 25 年度	稲沢市民センター地区	<ul style="list-style-type: none"> ・重本地内の稲沢公園及び三宅川周辺の野鳥・昆虫・植物 ・稲島地内稲沢北小学校東の水路の水生生物
	小正市民センター地区	<ul style="list-style-type: none"> ・陸田花塚町地内の治郎丸中学校とJRとの間の水田や水路の水生生物・昆虫・植物 ・島町大江川及びその周辺の野鳥
	下津市民センター地区	<ul style="list-style-type: none"> ・下津下町東地内稲春橋上流の五条川堤防周辺の野鳥・昆虫・植物 ・下津高戸町地内下津市民センター西の水路の水生生物
	祖父江支所地区	<ul style="list-style-type: none"> ・木曾川そぶえ砂丘自然林一帯の動植物
	千代田市民センター地区	<ul style="list-style-type: none"> ・千代田中学校北の水路及び池の水生生物
平成 26 年度	祖父江支所地区	<ul style="list-style-type: none"> ・木曾川そぶえ砂丘自然林一帯の野鳥・植物・昆虫
	千代田市民センター地区	<ul style="list-style-type: none"> ・千代田中学校北の水路及び池の水生生物
平成 27 年度	祖父江支所地区	<ul style="list-style-type: none"> ・木曾川そぶえ砂丘自然林一帯の野鳥・植物・昆虫
	千代田市民センター地区	<ul style="list-style-type: none"> ・千代田中学校北の水路及び池の水生生物
	<ul style="list-style-type: none"> ・調査結果のまとめ ・稲沢市動植物生息調査概要版作成 	

(2) 環境学習会

年度	内 容	場 所
平成 23 年度	水生生物	・千代田市民センター地区(千代田中学校北水路及び池)
	水生生物・昆虫	・祖父江支所地区 (長岡小学校南の水路やその堤)
	環境教育	・平和支所地区(らくらくプラザ及びその周辺)
平成 24 年度	水生生物	・千代田市民センター地区(千代田中学校北水路及び池)
	昆虫・植物	・祖父江支所地区 (木曾川そぶえ砂丘自然林一帯)
	水生生物	・大里東市民センター地区 (市民センター周辺水路)
平成 25 年度	水生生物	・千代田市民センター地区(千代田中学校北水路及び池)
	昆虫・植物	・祖父江支所地区 (木曾川そぶえ砂丘自然林一帯)
	野 鳥	・祖父江支所地区 (木曾川そぶえ砂丘自然林一帯)
平成 26 年度	水生生物	・千代田市民センター地区(千代田中学校北水路及び池)
	昆虫・植物	・祖父江支所地区 (木曾川そぶえ砂丘自然林一帯)
	野 鳥	・祖父江支所地区 (木曾川そぶえ砂丘自然林一帯)
平成 27 年度	水生生物	・千代田市民センター地区(千代田中学校北水路及び池)
	昆 虫	・祖父江支所地区 (木曾川そぶえ砂丘自然林一帯)
	植 物	・祖父江支所地区 (木曾川そぶえ砂丘自然林一帯)
	野 鳥	・祖父江支所地区 (木曾川そぶえ砂丘自然林一帯)

4 調査結果

野鳥と昆虫は、最も種類が多く確認された木曾川そぶえ砂丘自然林の継続調査結果を記載した。水生生物は、市内のほとんどが宮田用水系の水を利用しているため、千代田市民センター地区内の水路と池の継続調査結果を記載した。植物については環境との関係が著しくまとめることは困難なため、調査した10地区全ての結果を載せた。

そのほか、この5年間の調査で多くの希少種が確認できた。その結果を最初に記載しておくので、今後の環境保全や保護対策の一助にしていきたい。